



第 37 号

平成17年8月

発行 NPO法人小野川と佐原の町並みを考える会  
理事長 加瀬順一郎  
お問い合わせ 佐原町並み交流館  
☎ 0478 (54) 7766

# 佐原町並み交流館オープン

## 東京三菱銀行佐原支店を改装

昨年九月に閉店した東京三菱銀行佐原支店社屋を佐原市が買い受け、佐原町並み交流館として、四月六日オープンいたしました。当日は多数の関係者が来館し、盛大にオープニングセレモニーが開かれました。私達の会も東薫酒造さんの協力により参加された皆様に甘酒をふるまいました。

尚当会の事務所も四月六日より交



甘酒で乾杯

流館内に設置されました。

佐原町並み交流館は、歴史的景観を活かした小野川周辺地区への観光客を誘致し、これを起爆剤に交流人口拡大を図ることにより、まちの賑わいを創出し、地域全体としての消費の拡大と、地域の活性化を図ることを目的に、オープンいたしました。

館内では、佐原市の観光資源の紹介、伝統芸能・工芸の発表展示、風俗習慣の体験の場として、子供から大人まで幅広くご利用いただいております。

それと併せて観光客等にボランティアの方々による町並みの紹介並びに案内の実施、そして、無料貸し出し自転車を行ってあります。又、二階の研修室及び多目的室を左記により貸し出してあります。是非ご利用下さい。

- 第一研修室 一時間当り三百円
- 第二研修室 一時間当り三百円
- 第三研修室 一時間当り二百円
- 多目的室 一時間当り五百円

### 施設等の利用状況

- 入館者数 (四月～七月) 三六、四八三名
- 二階施設利用団体数 一四二件
- レンタサイクル利用状況 七六台

### 今後の主な事業実施計画

- 佐原町並み写真展
- 大根根博物館企画展示
- 青空市(毎月第二・四日曜日)
- 佐原の町並みアンケート(協力者に新米をプレゼントし物産のPRをする)
- 水郷三都サミットシンポジウム
- 伝統芸能の披露
- 観光写真コンクール入選作品の展示
- ミニチュア門松の手作り教室
- まちぐるみ博物館シンポジウム



▲館長とコーディネーターのみなさん

コーディネーターのみなさんの感想

○夏祭り三日間で二万八千人余の入館者があり、まるでラッシュ時の電車状態でした。本当にびっくり!

○年々観光客が増加しており、案内にもハリが持てます。

○「親切にしてくださいありがとうございます。」ととてもいい町ですね。等のお客さんの声をいただき、とてもうれしく、活力になっています。

○コーディネーターをしていると、「佐原」についての新発見があり、知識が増え、楽しく仕事ができます。

## NPO法人として 第1回定期総会開催



### 平成十七年度委員会活動方針

#### 〈総務委員会〉

- 委員長 高橋賢一
- 会員への連絡システムの充実と徹底を図る。
- 理事会・総会の運営
- 佐原町並み交流館の当番要請。
- 事務局運営・会計業務

#### 〈町づくり委員会〉

- 委員長 大高敏男
- 佐原町並み保存会との連携と懇話会等を通して啓発活動を行う。
- 視察研修の実施
- 鎌倉市(町づくりと景観条例の研修)
- 指定文化財の修理や見学
- 小野川清掃(八月二十五日予定)
- 保存地区内で住民や観光客を対象にイベントを開催

#### 〈観光事業委員会〉

- 委員長 吉田昌司
- 観光客への町並み案内
- 外国人観光客への英語等による案内
- 会員に対して、町並み案内研修会及び館内説明研修の開催
- 館内外の清掃(植込みの管理・鳩の糞掃除等)

#### 〈暖簾委員会〉

- 委員長 小林和男
- 会員の店舗に掛ける「会員証」の看板の作成
- 各店舗の紹介や地域の見所等のパンフレットを作成し、クリア・ファイルに収めて交流館や観光施設、店舗等で活用する。

#### 〈広報委員会〉

- 委員長 林正裕
- かわら版の発行 年三回 うち一回を旧佐原市内全世帯へ配布。
- 町並み絵はがきの作成、販売



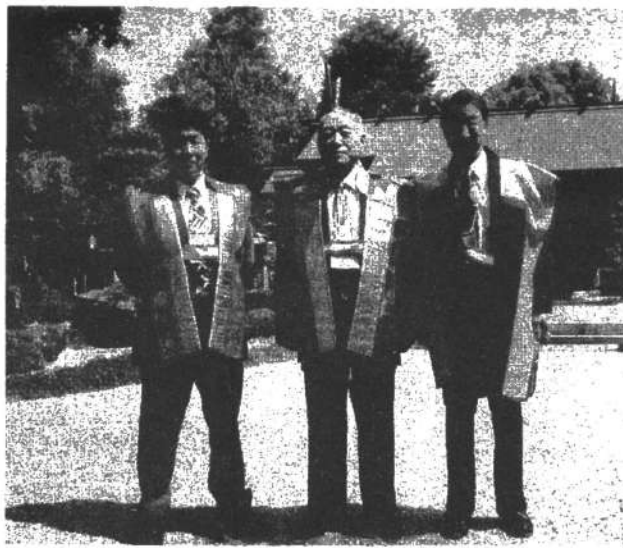
5月25~27日

# 第27回全国伝統的建造物群保存地区協議会 鹿児島県出水市で開催

## 参加報告

鶴の飛来地で有名な出水市は、鹿児島県と熊本県の県境に位置し、薩摩藩の防人としての役目を果たす場所であった。普段は農業を営み、有事の際は武士として侵略者に挑む生活を、武道訓練や掟の中で暮らす武

鶴の飛来地で有名な出水市は、鹿児島県と熊本県の県境に位置し、薩摩藩の防人としての役目を果たす場所であった。普段は農業を営み、有事の際は武士として侵略者に挑む生活を、武道訓練や掟の中で暮らす武



昨年、佐原での全国伝統的建造物群保存地区協議会総会につづき、今年には鹿児島県出水市で開催され、当会から理事長はじめ3名、市から3名で出席させて頂きました。着いて早々事例発表会で当会の住民活動の様子と今後の課題を理事長よりご説明し、佐原の宣伝になりました。一方、総会では次年度開催地「川越」が決定され閉会しました。

情報交歓会の出迎えに、ちびっこ達による種子島楽（県無形民族文化財）の太鼓踊りで公会堂に案内され、手作りのもてなしでたくさんさんの郷土料理と芋焼酎を頂だいし、「出水麓街なみ保存会」並びに関係者のご苦勞がしみじみと伝わりました。

翌朝から現地視察、碁盤の目のよ

## 会員の証看板完成・配布

かねて暖簾委員会（委員長 小林和男）で検討していた看板が完成しました。これは当会のイメージアップと会員としての各自の意識の向上のため「NPO小野川と佐原の町並みを考える会」の木製看板の希望

又、要望が多く、本年度、平成十七年度六月二十二日の総会にて承認を受けて、のれん委員会にて製作を担当させて頂いていただきました。会員の方でご希望の方は、左記までお申込み下さい。

小林和男 五二一四七六七  
大高敏男 五二一三九九三  
一枚 一七〇〇円

## NPO小野川と佐原の町並みを考える会

うに区切られた道路に玉石が積まれた街区、袖つきの門をくぐると、質素なたたずまいに武の国薩摩の威厳が漂っている。牛車に揺られゆつたりとした説明が急に止まると、花子（牛の名）さんのトイレの時間、またゆつ

## 昨年の全伝協大会

### 佐原で開催される

北は北海道、南は沖縄まで  
全国から約200名が集う

第二十六回全国伝統的建造物群保存地区協議会が佐原市に於いて、五月二十五日（火）・二十六日（水）・二十七日（木）の三日間に亘り開催されました。

北は北海道、南は九州、沖縄まで約二〇〇名の方が佐原に参集いたしました。佐原市からの住民参加者は、「小野川と佐原の町並みを考える会」「町並みボランティアの会」、合わせて約四十名の方が活躍して下さいました。お蔭様で、大会参加者から「温かいもてなしの心で接待・運営されて、本当に素晴らしい大会でした。」と感謝の声をたくさん聞く事ができ



くりと歩むと半天を着た二人の男性が慌てず、騒がず、すばやく糞をかたづけ去ってゆく。休憩所では「麓まつり」に使用する陣羽織を着せられ写真撮影、ユーモアたっぷりのおもてなしに観光者の気分を味わう。



ました。皆様本当にご苦勞様でした。心より感謝いたします。

## 小野川清掃を実施します

皆様の参加、ご協力お願い申し上げます。

実施日 平成17年8月25日  
午前9時から

（予備日 平成17年8月27日 午前9時から）  
場所 正上から下流へ山野病院付近まで  
集合場所 正上前  
集合時間 午前8時30分  
草刈鎌等清掃用具をご持参ください。

## 平成17年度 NPO法人「小野川と佐原の町並みを考える会」役員

- 理事長 加瀬順一郎
- 副理事長 吉田 昌司・高橋 賢一
- 専務理事兼事務局長 佐藤健太良
- 監事 佐藤 清・久保木秀夫
- 理事 石毛 麻理・伊藤 待子
- 伊能 久敬・宇野 順子
- 円城寺達雄・大高 敏男
- 岡沢美奈子・越川 悦子
- 小林 和男
- 坂本 博一（会計）
- 白鳥富士男・田中 良一
- 永井 昭一
- 林 正裕（副会計）
- 山田太刀雄

## 計報

当会の理事、酒井トキさんが、昨年十二月ご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 後記とお詫び

一昨年第三十六号を発行以来、重伝建佐原大会、NPO法人設立等、当会にとって最も重要だった年に「かわら版」の発行ができなくて、誠に申し訳ありませんでした。お詫び申し上げます。今年より活動の拠点が佐原町並み交流館に移り、事務所も確保できました。NPO法人として第一歩を踏み出したわけですが、これからが大変だと思えます。皆様のご協力をお願い申し上げます。